

サバティカル期間における研究経過・成果報告書

令和4年 4月 1日

国立大学法人茨城大学長 殿

所属・職名 教育学部・准教授

氏 名 大 島 規 江

下記のとおり、サバティカル期間が満了しましたので、研究経過・成果等を提出いたします。

サバティカル制度を
利用した期間

令和3年 4月 1日 ~ 令和4年 3月 31日

①研究経過について
(利用期間を月単位
などに区分して、具体
的な研究経過を記入
して下さい。)

4月：COVID-19によりオランダ渡航延期。日本において、フリース語、バスク語、カタラン語、サーミ語をはじめとする24のEU公用語以外の60を超える地域言語について文献収集

5月：COVID-19によりオランダ渡航延期。日本において、24のEU公用語以外の60を超える地域言語について文献整理

6月：COVID-19によりオランダ渡航延期。日本において、24のEU公用語以外の60を超える地域言語について文献研究

7月：COVID-19によりオランダ渡航延期。日本において、ヨーロッパの地域言語に関する論文に掲載する図表を作成

8月：8月半ばにオランダに渡航し、研究環境の整備を行う。また、ヨーロッパの地域言語に関する論文を執筆

9月：受入教員にアドバイスをを受けつつ、大学図書館でフリース語を中心とする地域言語に関する論文・報告書を収集。それらを参考にしながら、次年度以降の科学研究費獲得に向けた申請書作成

10-12月：COVID-19による外部者のオランダの小中学校への立ち入りが厳格に規制されていたため、フリースラント州の学校訪問は叶わなかった。しかし、フリスク・アカデミーを訪問し、併設される地域言語に関する研究所の所蔵書を閲覧

1月：テキストマイニングのためのRStudioの講習を受講し、自身のコトバに関する研究への援用可能性を探る

2月：テキストの自動収集のためにPythonの講習を受講し、自身のコトバに関する研究への援用可能性を探る

3月：フリースラント州の小中学校における地理教育についてオランダ・フリースラント州の小中学校の先生にオンラインで教科書の内容や教材について聞き取り調査

②研究成果について

(目標の達成状況及び研究成果の公表予定について記入して下さい。)

サバティカル期間内における目標の達成状況は、60%程度である。COVID-19によりオランダ渡航が大幅に遅れたことや感染症予防のために現地の学校を訪問することができなかったためである。

オランダの地域言語についての研究とは別に、コトバに関する研究に開眼する契機となった。コトバに関する研究については、異分野融合的取り組みの成果を上げることができた。

大島規江 (2022) : ヨーロッパにおける地域言語—オランダのフリジア語を中心に—。茨城大学教育学部紀要 (人文・社会科学, 芸術) 71, 27-37.

大島規江・宮崎尚子・大島聖美 (2022) : 島崎藤村『夜明け前』の地理学的—考察—近世頽落期の木曾の庄屋—。茨城大学教育学部紀要 (人文・社会科学, 芸術) 71, 13-26.

大島聖美・大島規江・宮崎尚子 (2022) : 島崎藤村『夜明け前』の心理学的—考察—藤村の家族関係と生涯—。茨城大学教育学部紀要 (人文・社会科学, 芸術) 71, 179-191.

宮崎尚子・大島聖美・大島規江 (2022) : 島崎藤村『夜明け前』の国文学的—考察—乖離する表象としての青山半蔵—。茨城大学教育学部紀要 (人文・社会科学, 芸術) 71, 1-12.